

【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2017年12月

◇第106回活動:2017年12月10日(日) 午後1時から 又エック207室

11月に開催した美松会27主催の『第5回美術展』の反省会と、新年会を来年1月21日(日)に計画している旨、監事を務める佐久間さんからの計画内容を皆に話した。

今日の活動から新しい課題写真『裏磐梯の紅葉』を描いていく。

1. 左側の紅葉や木々と灌木の葉っぱ、道横の笹藪などを描いていく。

① 紅葉等の色をつくっておく。

- a) 赤い紅葉 朱色+黄色を少な目に混色し、水溶きしておく。
- b) 黄味の紅葉 朱色+黄色多目に混色し、水溶きしておく。
- c) 緑味の紅葉 朱色に混色する鮮緑色の量を変えながら、緑っぽい紅葉の色を何種類かつくる。
- d) 笹の色 鮮緑色+暗青色を比率を変えながら、濃淡を変えた色をつくる。

2. 紅葉の楓を描いていく。

- ① 光で映える葉っぱ数枚にマスキングを施す(葉っぱの形に)
- ② 木の幹を黄色で上部途中まで描いておく。
- ③ 塗った黄色を乾かしてから、つくっておいた淡目の赤い紅葉の色を、ドライブラシ技法で紅葉の楓群に擦って色をおき、直ぐに水筆で周囲に散らしていく。
- ④ 黄色っぽい葉群には黄色味の色を、緑っぽい葉群には緑味の色を、ドライブラシ技法で擦って色をおき、直ぐに水筆で周囲に散らしていく。
- ⑤ 下部に見える赤や黄色の紅葉を、a色やb色を小筆に取り、葉っぱの形を意識して描いていく。

3. 道脇の笹藪を描いていく。

- ① 道端脇の笹の葉で、光って白く見える部分に予めマスキングを施す。
笹の茎にも細めにマスキング筆で描くように施していく。
- ② 淡い目に水溶きしたd色を小筆に取り、ドライブラシ技法で擦って色をおき、直ぐに水筆で周囲に散らしていく。

4. ダブルマスキングを施す。

- ① 紅葉の楓を、課題写真を見ながらマスキング筆で葉っぱの形に描くように施していく。
緑っぽい葉群にも所々の葉っぱをマスキング筆で描くように施していく。
- ② 紅葉楓下の緑っぽい葉群に、課題写真を見ながらマスキング筆で葉の形に描くように施していく。
- ③ 課題写真を見ながらマスキング小筆で笹の葉っぱの形に描くように施していく。

5. マスキングインクを乾かしてから、紅葉の楓、その下の緑っぽい葉群、笹藪などに、前項2で塗った色より濃い目の色を筆に取り、ドライブラシ技法で擦って色をおき、直ぐに水筆で周囲に散らしていく。

笹藪では、先に塗った笹の緑色より濃い目の色を小筆に取り、課題写真を見ながら奥に見える笹の葉っぱを描いていく。

6. ダブルマスキングを施した夫々の箇所影のように見える葉群の奥に、濃い目の色をグリザイユでおいていき、直ぐに水筆で周囲にボカしていく。

7. 塗った色を乾かしてから、焦げ茶色+暗青色の混色でつくった焦げ茶系影色で、黄色で塗っておいた立ち木を根元から上部途中まで塗っておく。

※今日の活動は、ここで終わった。

8. 次回(12月25日(月))の活動予定

① 宿題

- a) 課題写真右側下部の笹藪、その上の灌木などを今日の描き方を踏襲して描いてくる。
- b) 今日描いた左側の笹藪根元と道路との際にマスキングを施してくる。

◇第107回活動:2017年12月25日(月) 午後1時から 又エック207室

今日の活動は、過去最大の6名が欠席されて7名の仲間でスタートした。

今日は、課題写真『裏磐梯の紅葉』の正面の道と奥の黄葉の林を描いていきます。

1. 正面の道を描いていく。

① 落ち葉や道路の影色をつくる。

a) 落ち葉の色 濃い目の色：バラ色と暗紫色を混色

明るめの色：薄めに溶いた暗赤色と暗紫色の混色に、オレンジ色を混ぜる。

b) 道路の影色 焦げ茶色+暗青色の比率を変えて、黒っぽい焦げ茶色から青っぽい影色をつくっておく。

② 白く見える石ころや落ちてしている小枝などを、マスキング小筆で描くようにマスキングを施していく。

③ 描いたマスキングインクを十分に乾かしてから、夫々の下部に焦げ茶や黒の水彩色鉛筆で影を描いていく。

④ ハケ筆で水を道路全体に塗ってから、平筆で濃い目の落ち葉色をサーッと左から右へ往復させながら塗っていく。

⑤ 両脇の笹藪際に吹き寄せられている赤っぽい落ち葉を表現するように、オレンジを混ぜた明るめの落ち葉色を塗る。

⑥ 課題写真を見ながら、影の具合を表現するように黒っぽい焦げ茶色や、青っぽい影色をススッと平筆で塗っていく。

⑦ ドライヤーで十分に乾かしてから、マスキングインクをきれいに剥がしておく。

2. 正面奥の黄葉の林を描いていく。

① 正面の白い道路際に見える緑色の縁石(?)を、緑色絵の具で直線状に描いてからマスキングをしておく。

② 正面に見える木の幹に、マスキングインクをGペンで描いておく。

③ 黄色の葉っぱの向きを意識しながらマスキング小筆でチョンチョンとマスキングを施していく。

正面奥へ道路があるので、葉っぱの向きは右側と左側共に中央に向っているのを意識してマスキングを施していく。

マスキングした緑の縁石上に見える黄色の葉っぱにもマスキングを施していく。

④ 施したマスキングを乾かしてから、薄めに溶いていた鮮黄色を小筆に取り、ドライブラシ技法で葉っぱの向きを意識して擦るように塗り、水筆で散らしていく。取り、ドライブラシ技法で葉っぱの向きを意識して擦るように塗り、水筆で散らし描いていく。正面手前の縁石上の緑部分にも色をおいていく。

※ 今日の活動はここまで出終わった。今日描いてきた黄葉の林と左側木々との間の紅葉の木々を、次回までに描いてくること。

※ 内ちゃん先生から、「配布した課題写真はF10用の写真だったので、F8水彩紙に描くには縦幅をF8サイズ比で短かくすること」との助言。

F8の水彩紙は455×380mmなので、その横縦比率を課題写真に適用して計算し、横寸408mmに対応する縦寸を計算して上部分を短く切り詰めて手本とする。

3. 次回(1月8日(月))の活動予定

次会の活動では、上部の風景を描いて仕上げていきます。